

## 令和5年度 各単位研究会事業計画


 神戸市立小学校事務研究会
 

神戸市では、長年、校種別で研究会活動を行ってきましたが、校種間異動の増加や活動経費の問題等が発生し、時代の変化とともに校種別活動では解決できない課題も増えてきました。また、相互支援体制の導入により、これまで事務研究会が行ってきた取組の一部は相互支援体制のグループ活動で行えるようになり、事務研究会の存在意義や活動目的を問い直す必要が出てきました。

そこで昨年度は通常の活動を少し縮小し、中学校事務職員会、特別支援学校事務職員会と共に新しい研究会活動の在り方について考え、校種を超えた活動を行うための体制について検討してきました。

その結果、校種や区を超えた全市的な枠組の中で、様々な年代や立場の事務職員がプロジェクト活動や研修を通して、共に学び合い、資質向上を図ることができるように、令和5年度に3校種で1つの組織を結成し各会の活動を移行することになりました。すでに各会の総会で移行が承認されており、8月下旬に新組織の総会を開催する予定で準備を進めています。

新しい組織となっても、これまでどおり区研修会は校種別で行うなど校種別活動の良さも生かしながら、持続可能な新しい体制を作っていきたいと考えています。


 奈良県公立小中学校事務研究会
 

## I. 研究主題

「これからの学校経営を担う学校事務の探求」

今年度も3つの重点目標を定め研究会活動を行い、「子どもたちの笑顔あふれる学校づくり」のミッション達成に向けて研究を促進します。

《重点目標》

1. グランドデザイン「すまいる奈良2」の「ささえろ」「つなぐ」「ひらく」の3つの視点から、求められるリーダーシップとマネジメント力を探り、子どもたちの学びの環境整備について考える
2. 魅力ある研究会であるための持続可能な組織開発と組織活動の活性化
3. 支部活動の充実—地域特性を活かした研究の継続—

## II. 活動の柱

1. 支部活動の充実と交流
2. 専門部活動の充実

研究部  
広報部



## III. 事業内容

1. 研究大会の開催

第49回 奈良県公立小中学校事務研究大会

期日 令和5年12月11日(月)

会場 橿原文化会館 小ホール

分科会担当 ブロックE(大和高田市・五條市・御所市・吉野郡西・吉野郡東)

\*奈良県内の会員のための大会とします。

2. 研修会の開催

第1回学校事務研修会

期日 令和5年7月4日(火)

会場 橿原文化会館 小ホール

演題 「学校事務職員として子どもたちの学びに携わっていくためには

—学びの環境整備を担う事務職員の学校組織への関わり—



第2回学校事務研修会

期日 令和6年1月予定

Google Meetによるオンライン開催

3. 新規採用事務職員フォローアップ事業について

初めて公立小中学校事務職員として採用された者に対し、職務を遂行していく上で迅速で的確な事務処理を身につけるとともに、学校経営スタッフとしての自覚と責任、そしてやりがいのある職としての意識付けを早期に行うことを目的として実施します。

4. 県校長会・教頭会・事務研究会合同会議について

校長・教頭・事務職員の三者の連携を大切に、これからの学校の課題について互いの共通理解を深めながら調和のとれた学校経営と校内組織の充実について考えていきます。

5. 役員選考委員会及びブロック会

役員改選に向け候補者の選出とブロック選出の運営を行います。

6. 事業・組織検討委員会

研究主題のもと進めている研究会活動について、事業目的や必要性・効果から見直しを行い、事業や組織運営に無理のない規模・業務・人選等の運営方法を検討します。

7. 全事研福井大会分科会担当者

令和3・4年度の研究部が令和5年8月開催の全事研福井大会分科会を担当します。

8. 第55回全国公立小中学校事務研究大会への参加

令和5年8月3日(木)～4日(金)

奈良県:第2分科会担当

会場 全体会:フェニックス・プラザ 大ホール

分科会:ハピリンホール他 福井市内会場



9. 第15回近畿地区公立小中学校事務研究大会への参加

令和5年8月18日(金)

会場 ピアザ淡海



10. 関係諸団体との連絡協議

(1) 近畿公立小中学校事務職員研究会関係

(2) 全国公立小中学校事務職員研究会関係



 **滋賀県公立小中学校事務研究協議会** 

滋賀県公立小中学校事務研究協議会は関係機関との連携を密にして学校事務の研究、会員相互の親睦と緊密な連携、資質の向上と学校教育行政推進の円滑をはかることを目的として研究会活動を推進しています。

令和7年度夏には全国公立小中学校事務研究大会(滋賀大会)の開催が決定しており、実行委員会を組織して少しずつ準備を進めています。50年ぶりの滋賀県での開催に向けて「オール滋賀」で全国の事務職員・教育関係者をお迎えしたいと思っています。開催まで2年余りとなりますが、大会成功に向けて近畿各单位研究会の皆様にもご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

1. 第52回滋事研研究大会

大会テーマ「創造しよう! 教育を活かす学校事務を」

サブテーマ「広げよう 繋げよう みんなでつくる チーム学校」

(1) 期日 令和5年11月17日(金)

(2) 会場 滋賀県立男女共同参画センター

(3) 内容 午前:全体会(湖西ブロック担当)

講師:文部科学省 国立教育研究所 初等中等教育研究部 部長 藤原 文雄 様

午後:分科会(栗東市、湖南市)

## 2. 専門部活動

### <研究部>

【研究テーマ】事務職員のマネジメント力を活かした校務運営への関わり

～子どもも大人も笑顔輝くクリエイティブな学校現場へ～

「滋賀県公立小・中・義務教育学校事務職員の職階に応じた人材育成指標」には、県としてのめざす学校事務職員像が明示され、「学校運営体制の強化に向けてマネジメント力を有し、主体的に行動できる事務職員」がめざす姿の一つとなっています。

前例に囚われないクリエイティブな取り組みを模索しながら、負担感の軽減についても考えながら、持続可能であり事務職員自身が楽しく関わられるよう、主に下記の内容を中心に研究を進めていきます。

◎会員対象意識調査の考察  
★キャリアステージ毎の資質能力開発から、学校事務職員の校務運営への関わりを探求する。

◎部員による組織マネジメントの実践  
★校内や地域を“つなぐ”存在として、学校の組織力やマネジメント力の向上、学校の教育力を強化する取組への関わり。

### <研修部>

「滋賀県公立小・中・義務教育学校事務職員の職階に応じた人材育成指標」に明示された『滋賀県が目指す学校事務職員像』を目指して、研修部では『たがやす・きたえる・つなぐ』を方針として、事務職員としての素地をたがやし、資質をきたえ、世代を超えて人と人との思いをつなぐ研修を企画、実施します。

◎研修講座(全員対象)  
★テーマ  
『カリキュラムマネジメント、業務改善の観点からの教育環境整備』

◎初任者研修(採用1, 2年目対象)  
★教育行政職としての心構えや学校事務全般を理解するための研修

◎資料配布(全員対象) Web配信  
★年度末・年度当初事務関係テキスト  
★「学校事務の仕事」

### <広報部>

滋事研の活動や会員による実践報告、学校事務に関する様々な情報を会員向け広報紙「さざ波」の発行を通して発信します。また、滋事研Webを定期的に更新してタイムリーな情報提供に努めていきます。

### <事務局>

滋事研webに掲載している「学校事務ハンドブック」等の内容更新に取り組み、会員が利用しやすいよう充実を図っていきます。

「要覧しが」は、随時利用できるように滋事研webに掲載し、その他「会員名簿」「ダイアリー2023」の編集・データ配布を行います。



京都市立学校事務研究会では、目指す事務職員の姿を明確にし、各支部・部局が連携しながら研究活動を進めていきます。

### 目指す事務職員の姿

- 学校のマネジメントを推進する学校事務職員
- 教育行政職としての専門性を活かし実践していく学校事務職員
- 幅広い学校事務の領域と知見を持つ学校事務職員

### 活動方針

- (1) 実践に重点を置いた研究
- (2) 学校事務支援室との連携・協働
- (3) 支部会運営の充実



### 活動内容

#### 【研究開発部】

- 研究(プロジェクト)チーム  
「校内事務の標準化」について引き続き研究を行い、事務職員が日々関わる業務の諸課題を解決する手立てについて探求します。業務の手順の統一化や効率化を図り、事務職員だけでなく教員の負担軽減についても考え、より良い校内体制の構築へつなげていきます。
- 事務改善チーム  
これまで研究会で進めてきた標準職務遂行に向けた実践研究を全市で標準化し、定着させるための具体的方策を考え、提案します。各校で事務職員が業務を行う中での困りや小さなつまづきを共有して解決し、全市の学校事務の水準を上げることを目指します。
- 研修(資質開発)チーム  
研究チーム、事務改善チームの取組に基づく研修会を行い、事務職員の資質向上を図ります。会員同士の交流を活発にし、繋がりの輪を広げ、毎回新たな気づきを発見できる研修会を目指します。

#### 【事務局】

会務の執行や予算管理、ホームページの管理更新、会報発行等、研究会の運営を円滑に行うための活動を行います。また充実した研究会活動を推進するため、各支部との連絡・調整を図るとともに、関係機関や他府県の研究団体との連携を図り会員に情報提供できるよう広報活動にも取り組みます。

### 研究大会の実施

令和5年度 京都市立学校事務研究大会の開催

期 日 令和5年12月15日(金)

場 所 京都市総合教育センター

内 容 未定





# 大阪府公立学校事務研究会

大阪府公立学校事務研究会では、本会の設立目的「府内研究会相互の連携と協力のもと、学校事務の研究と会員の資質向上をはかり、学校事務の確立と学校教育の発展に寄与すること」を達成するため、「学校事務の研究」「研修」「加盟研との連携」の3つの事業を進めていきます。

## 1. 第32回大阪府公立学校事務研究大会

期日：11月1日(水)

内容：「大阪府教育庁の行政説明」、「記念講演」、「府事研研究部のプレ報告」

実施形態：集合及びZoomオンラインライブ配信の併用形式



## 2. 総務部

- ① 研究会活動計画と具体運営計画
- ② 関係機関、団体との連絡調整
- ③ ホームページ等を活用した情報提供（府事研ホームページ：<https://www.fujiken-osaka.net/>）
- ④ 事業推進に必要な調査統計
- ⑤ 本会の活動の記録保存

## 3. 研究部

昨年度に引き続き、「共同実施の機能について」を研究テーマとして、研究を行います。今年度は、集めた資料を基に観点別に分析・精査を行い、第32回大阪府公立学校事務研究大会で研究経過を報告する予定です。

## 4. 研修部

- ① 体系的研修制度の研究を行います。
- ② 現任者研修講座を企画します。アンケート内容の分析に努め、ニーズや今日的課題に即した内容となるよう企画します。
- ③ 新規採用学校事務職員研修講座は、三認定の知識を深める研修講座等を企画・運営していきます。
- ④ ステップアップ研修講座を企画・運営していきます。採用2年目～5年目を対象とした研修を開催いたします。
- ⑤ 新規採用臨時的任用職員研修講座を開催します。
- ⑥ 感染症予防に配慮して、各研修講座を運営いたします。

## 近畿地区公立小中学校事務研究大会（滋賀大会）

「アップデート 近事研! 笑顔輝く令和の学校事務を考える」を大会テーマに研究大会を開催します。

期 日 令和5年8月18日(金)

会 場 ピアザ淡海(滋賀県立県民交流センター)※会場参加、またはオンライン参加(Zoom)でのハイブリッド形式

日 程 12:30 13:00 13:20 14:05 14:15 16:35 16:45

受付	開会 行事	近事研調査 研究部報告	休憩	全体会 パネルディスカッション	閉会 行事
----	----------	----------------	----	--------------------	----------